

# 銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号  
加藤金属興業株式会社

## ◎ 2019年9月の国内電気銅建値は下記の通りです。

9月	2日	～	640円/Kg
9月	5日	～	650円/Kg
9月	10日	～	660円/Kg
9月	13日	～	670円/kg
9月	25日	～	660円/kg

2019年9月度は平均で658.40円/kgとなり、前月比5.60円/kgの値上がりとなりました。

### 海外銅価の動き

9月のLME銅相場	9/1～9/27	(安値ドル 5,537.00～5,877.00 高値ドル)
9月のNYC銅相場	9/1～9/27	(安値セント 251.25～268.10 高値セント)

9月度のLME現物は、9/2 \$5,610.50でスタート。前月の半ばより、LME在庫は30万tを超えての推移となっており、昨今の政治絡みの経済情勢からは銅価格の低位安定も仕方のないところとも言える。

11日に発表された中国の新車販売台数は前年同月比で6.9%減の196万台、14ヶ月連続で前年実績を割り込んだ。14日、サウジアラムコ石油施設が無人機による攻撃を受けた。イラン政府の関与を強く唱える米トランプ大統領の動きが気になる中、その後欧州のドイツ・フランスもイランが関与しているとの発言もあり、銅相場にも大きく影響を与える懸念となっている。25日、米中貿易協議に関し、トランプ大統領の想定よりも早く解決するとの前向きな発言を受ける形で、ファンタメンタルズの強い銅相場は下げ幅を縮小する動きもあったが、依然投資家も需要家もリスクを避けた動きとならざるを得ない状況である。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年1月 資料より (単位/千トン)

	2017年 実績	2018年 実績	前年比	2019年 予想	前年比	2020年 予想	前年比
全世界地金生産	23,050	23,561	+2.2%	24,237	+2.9%	24,854	+1.9%
全世界地金消費	23,108	23,782	+2.9%	24,413	+2.7%	24,981	+1.8%
全世界需給バランス	-58	-211		-175		-127	

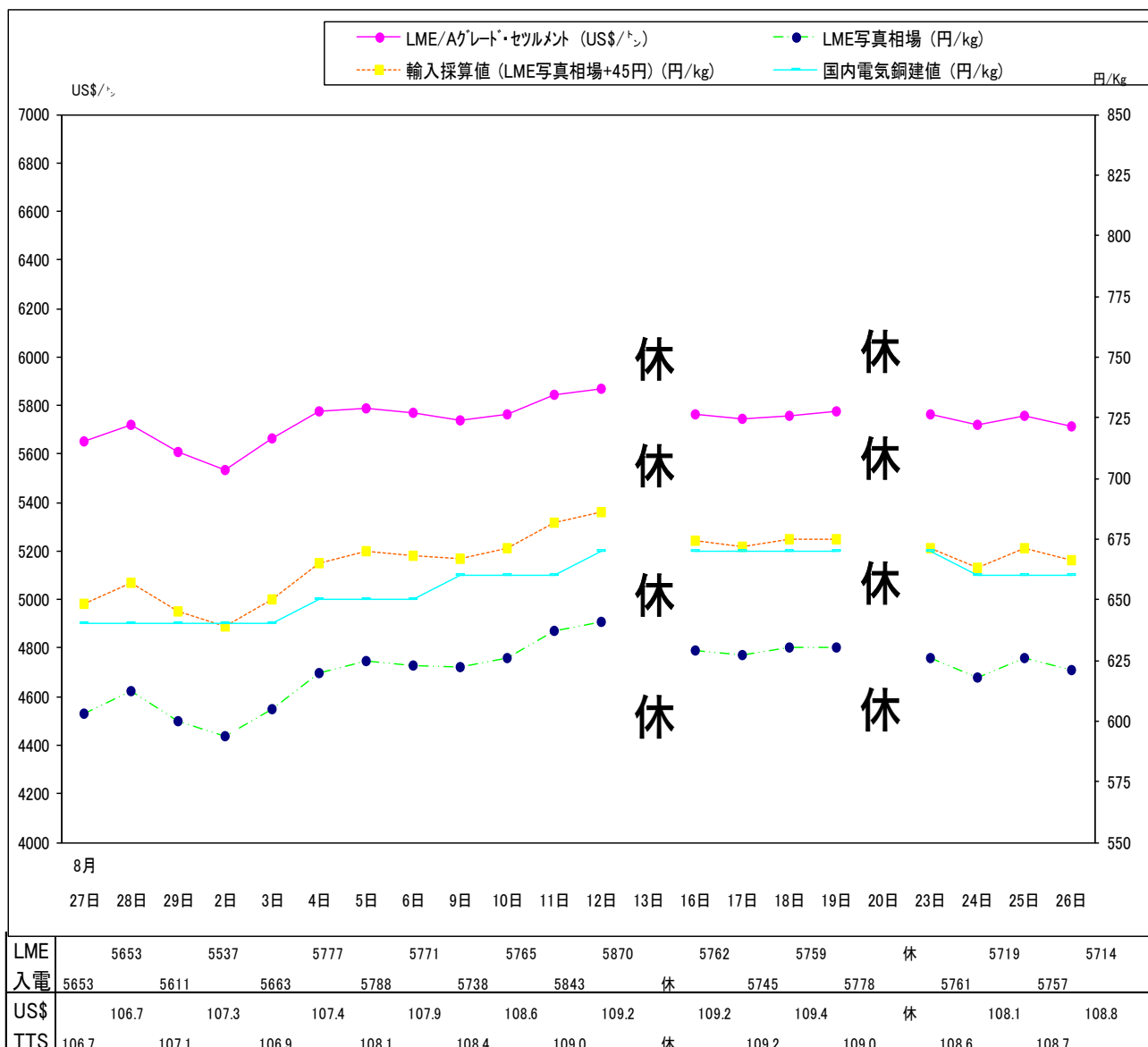
### 先行き短期見通

#### 国内銅価

9月度の国内建値は2日640円/kgでスタート。世界経済は悲観的要素が強く銅相場の見通しも見えて来ない。LME現物も\$5,700を挟んでの動きとなった。やや円安の影響もあり、9/5 650円と上げ、その後10日660円、13日670円と徐々に上げる形となった。9/25 660円にやや下げて月末となった。

9/27付 LME \$5,714.00、27日付 為替(TTS) 1USD=108.84円で日本円換算計算値622円/kg。2019年10月の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、660円の予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2019年9月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 9月 2日 ~ 286 円/kg
- 9月 5日 ~ 298 円/kg
- 9月 12日 ~ 307 円/kg
- 9月 25日 ~ 298 円/kg

平均299.40円/kg

2019年9月は上記の通りで前月比 7.10 円/kg の値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

## ◎ その他の建値

電気鉛	9月	284.20 円/kg	(前月比+ 2.60 円/kg)
電気錫 (相対)	9月	3,170.00 円/kg	(前月比- 70.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	9月市中価格	2,000.00 円/kg ~ 2,050.00 円/kg	
銀	8月平均	59,990.00 円/kg	(前月比+ 3,790.00 円/kg)
	9月30日	62,310.00 円/kg	
金	8月平均	5,152.62 円/g	(前月比+ 200.48 円/g)
	9月30日	5,213.00 円/g	

## ◎ 伸銅品関係

### 2019年8月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		7月度実績	8月度速報	前月比	前年8月度実績	前年同月比
銅	板	1,563	1,457	-6.8%	1,231	18.4%
	条	22,612	17,427	-22.9%	19,722	-11.6%
	管	9,766	7,041	-27.9%	7,205	-2.3%
	棒	2,300	1,861	-19.1%	2,111	-11.8%
	線	308	238	-22.7%	256	-7.0%
黄銅	板	703	567	-19.3%	506	12.1%
	条	8,318	6,722	-19.2%	7,619	-11.8%
	管	560	435	-22.3%	472	-7.8%
	棒	15,454	13,285	-14.0%	14,807	-10.3%
	線	2,060	1,699	-17.5%	2,350	-27.7%
青銅	板	2,031	1,877	-7.6%	2,493	-24.7%
	条					
	棒	242	206	-14.9%	229	-10.0%
	線	55	49	-10.9%	71	-31.0%
洋白・その他	板	454	300	-33.9%	479	-37.4%
	条					
	棒	43	26	-39.5%	44	-40.9%
	線	433	267	-38.3%	335	-20.3%
合計		66,902	53,457	-20.1%	59,930	-10.8%

8月の伸銅品生産速報は、53,457トンで前月比マイナス13,445、前年同月比マイナス10.8%となり、前年同月比が9ヶ月連続でマイナスとなりました。

## 電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の6月分実績及び7月分推定によれば、6月分実績は、自動車のみが好調で、建設電販はわずかに前年を上回るも増減率は±ゼロとなったほか、電気機械等5部門が全て前年を割り込んだ。そのため総計は56,629tで前年同月比4.1%減と3ヵ月ぶりに水面下に沈んだ。

一方、7月分の銅電線出荷推定では、建設電販が32,100t(前年同月比14.3%増)と昨年11月以来8ヵ月ぶりに30,000tを上回り好調なことに加え、自動車(同19.2%増)が高い伸びを示した。さらに、その他内需(同9.1%増)と通信(同21.2%増)の合計4部門が増加に転じ、総計は64,300t(同8.1%増)と8ヵ月ぶりに60,000tをクリアした。特に建設電販が活況であり、エコ電線等の品種の中には需要に供給が間に合わないケースもある。

6月分の部門別出荷は、プラスグループは自動車と建販の2部門のみで、自動車は電線出荷も同8.6%増と9ヶ月連続の伸長。建設電販は増減率では±ゼロだが、同じく9ヶ月連続で伸長した。7月の重要も活況であり、大幅に伸長する見通し。

一方マイナスグループは5部門。通信は同5.6%減。ただ、7月には再び2割割と大幅に増加する見通し。電力は同12.6%減少。電気機械は同10.6%減で10ヶ月連続の前年割れ。その他内需も同8.6%減の8ヵ月連続、輸出は同32.3%と大幅減となった。

### 2019年6月分(実績)・2019年7月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	6月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	7月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	6月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通 信	740	▼17.7	▼5.6	1,000	35.1	21.2	1,267	(▼10.0)	▼5.0
電力	(1,455) 3,791	(▼5.9) ▼11.3	(11.1) ▼12.4	(1,200) 4,400	(▼17.5) 16.1	(15.5) ▼1.3	1,014 4,488	(▼13.3) ▼19.8	(12.4) ▼11.1
電気機械	(360) 11,479	(7.5) 2.4	(▼10.4) ▼10.6				335 15,549	(13.2) 1.9	(▼13.9) ▼15.1
自動車	(121) 7,434	(▼16.0) 4.7	(26.0) 8.6				425 34,778	(▼10.1) 2.6	(9.5) 10.7
建設・電販	(21) 27,689	(16.7) 0.0	(▼46.2) 0.0	32,100	15.9	14.3	22 31,461	(29.4) ▼1.4	(▼56.0) ▼2.8
その他内需	(82) 4,090	(9.3) 2.6	(70.8) ▼8.8	(600) 4,800	(2.7) 17.4	(▼5.1) 9.1	80 7,003	(▼10.1) 0.7	(50.9) ▼2.5
内需計	(2,039) 55,223	(▼3.8) 0.1	(7.6) ▼3.1	(1,800) 63,200	(▼11.7) 14.4	(7.7) 9.6	1,877 94,545	(▼8.2) ▼0.5	(5.3) ▼1.2
輸出	(269) 1,406	(13350.0) 6.6	(▼6.6) ▼32.3	(800) 1,100	(197.4) ▼21.8	(151.6) ▼38.4	141 4,588	(1181.8) 2.7	(▼0.7) ▼31.9
合計	(2,308) 56,629	(8.8) 0.3	(5.7) ▼4.1	(2,600) 64,300	(12.7) 13.5	(30.7) 8.1	2,018 99,133	(▼1.8) ▼0.3	(4.9) ▼3.2
心線販売	(413) 30,218	(▼1.0) 2.4	(▼59.0) ▼1.9	(700) 33,100	(69.5) 9.5	(▼46.5) 8.0	108 20,724	(0.0) ▼4.8	(▼61.7) ▼13.2

(注) ( )内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。  
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

### 2019年6月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品 種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,558	2.8	▼0.1	3,141	2.3	▼8.7	
巻線	10,958	3.3	▼6.8	11,728	2.9	▼9.2	
機器用電線	3,220	▼2.2	▼11.0	9,137	▼2.1	▼16.3	
通信用電線・ケーブル	1,350	0.4	▼4.4	3,025	2.7	▼5.1	
電力用電線・ケーブル	20,647	▼3.7	▼4.0	21,281	▼6.6	▼9.5	
被覆線	10,918	3.2	▼6.0	15,156	0.2	▼3.4	
輸送用電線	5,978	4.0	7.3	35,666	2.4	8.9	
銅電線計	56,629	0.3	▼4.1	991,333	▼0.3	▼3.2	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル 電力用電線・ケーブル、被覆線 計	84 3,120 3,209	0.0 ▼6.4 ▼6.3	21.7 26.3 26.0	265 3,551 387	10.9 ▼8.1 ▼6.9	16.2 20.1 18.9
アルミ電線計	2,308	8.8	5.7	2,018	▼1.8	4.9	
光製品 うち、光ファイバーケーブルコード	3,788,219 -	12.3 -	▼4.3 -	21,904 4,662	3.7 ▼1.8	▼5.9 20.0	

(注) 1. EM電線・ケーブルはJCS規格17品種が対象であり、機器用、消防用等のノンハロタイプは含まれない

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週は、米中貿易戦争の激化が相場の重しとなる中、英国のEU離脱を巡る不透明感からポンドユーロ安・ドル高を受けアルミは軟調な推移でのスタート。米中通商協議が10月ワシントンで再開されると報じられると\$1,790台に到達。第2週、中国中銀の預金準備率引き下げに続き、米FRBパウエル議長も利下げに前向きな姿勢を示したことから市場はリスクオンに傾く。LME在庫の減少、中国アルミ供給不足、インドネシアのアルミナ禁輸懸念などアルミ独自の需給問題に注目が集まり相場をサポート。ECBの利下げ決定のニュースでアルミ相場は下落し、再び\$1,700台に戻る。第3週、サウジアラビアの石油施設が攻撃を受け、地政学リスクの高まりからドル高、アルミ相場を下押し。また、中国鋳工業生産も4.4%と低水準な結果で弱材料。注目されたFOMCでは、大方の予想通り0.25%の利下げが発表され相場は狭いレンジでの推移で終始。第4週、中国で自然災害、環境監査や工場爆発等、突発的な減産が続いており、リスクオンの流れになれば一気に反発する可能性の中、米中通商協議に関する発言にも反応は薄く、アルミ相場の上値は重く狭いレンジでの推移が予想される。トランプ大統領がウクライナの大統領にバイデン前副大統領に関する調査を求める圧力をかけたことで下落した米株に反応しアルミ相場も下落。狭いレンジでのポジション調整が入る中、上値が重い状態で当面は、\$1,700台半ば前後での推移予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2019年 9月積 1,873.00～1,884.00 ドル／トン
- ・輸入採算価格 2019年 9月積 215.80～217.10 円／kg
- ・NSP 2019年 7月 249.00 円／kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2019年 10月～12月 250.00 円／kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位＝千トン）

	'19年7月	'19年8月	'18年8月
月生産	*2,344.0	2,357.0	2,367.0
平均日産	*75.6	76.0	76.4

(\*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

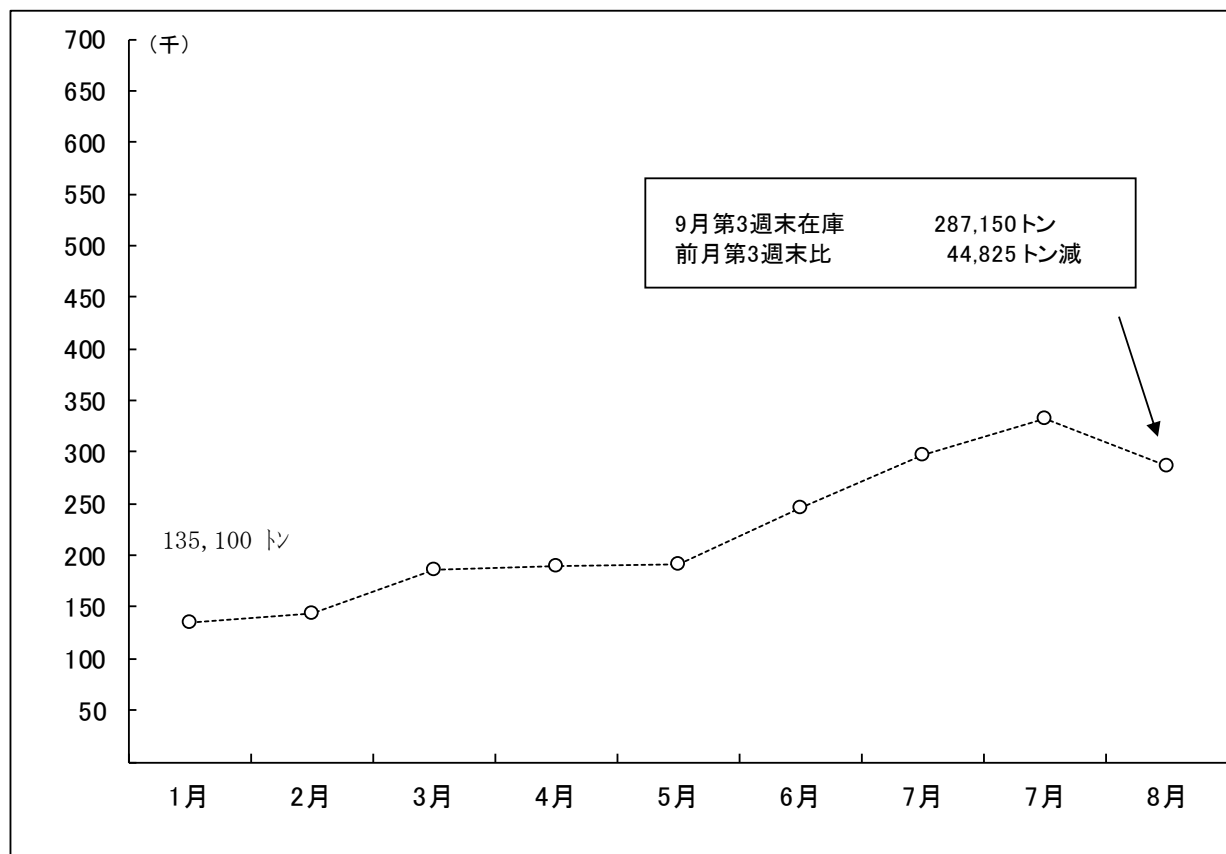
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2019年5月	2019年6月	増減	2018年6月	増減
横浜	153,000	154,300	+1,300	151,700	+2,600
名古屋	128,000	130,700	+2,700	140,200	-9,500
大阪	15,000	15,000	±0	15,000	±0
合計	296,000	300,000	+4,000	306,900	-6,900

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ L M E 銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX 在庫 (第3週末)

・ 19年9月20日現在 41,238 S T 前月比 336 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・ 19年7月末 94,905 トン 前月比 11,408 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・ 19年7月確報 66,902 トン  
 ・ 19年8月速報 53,457 トン 前月比 79.9 %

◎ 電線出荷実績

・ 19年8月速報 53,200 トン 前月比 82.7 %

◎ 軽圧品生産実績

・ 19年 8月	板 類	80,148 トン		
	押 出 類	55,151 トン		
		<hr/>		
		135,299 トン	前月比	77.0 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。